



壁面から少し外に出る四方枠の薄さと、ガラス手摺の段差のない納まりに注目。



シャープな黒が織りなす 情緒豊かな景観。

歴史の面影を残しつつ流行の店も軒を並べる、伝統と新しさが共存する街、神楽坂。この街に新たに生まれたこのレジデンスのファサードには、モダンな印象を演出する、フロントのブラックの仕上が使われています。

深みのあるブラックの仕上が施されたガラス手摺と開口部の四方枠は、一体になっているかのようなシャープさを生み出しています。また、枠を外壁から少し外に出すことによって、柱の細さをより強調させ、住む人に解放感を感じさせるつくりになりました。このレジデンスの顔の1つとなるガラス手摺は、フロントのもつ技術力を発揮した新たな自信作と言えます。

DATA

施設名：ピアース神楽坂センティア

所在地：東京都新宿区

竣工：2024年6月

材料：高耐食性メッキ鋼板、ステンレス

製品：ガラス手摺